

「CAN-DO リスト」で授業を変える！

「CAN-DO リスト」とは？

英語の学習到達目標を、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を用いて「～することができる」の形で表した一覧

「CAN-DO リスト」の形での 学習到達目標の設定			
コミュニケーション への関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
評価の基本的な要素（観点）			

※ 観点別学習状況の評価における4つの観点のうち、「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標は、「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」について設定する。ただし、学習評価は、4つの観点を総合して行う。

「CAN-DO リスト」作成のねらいは？



授業改善

× 作成することが最終目的ではありません！

一部の学校で、文法・訳読中心の授業、高校入試等の対策に特化した授業が行われているという指摘から

次の3つの視点で授業を実施することを主なねらいとしています。

- ・ 生徒が身に付ける能力を明確化し、指導と評価の改善に利用する。
- ・ 4技能を総合的に育成し、自らの考えを伝える能力、思考力・判断力・表現力を養う。
- ・ 教員と生徒が目標を共有し、主体的に学習する態度・姿勢を生徒が身に付ける。

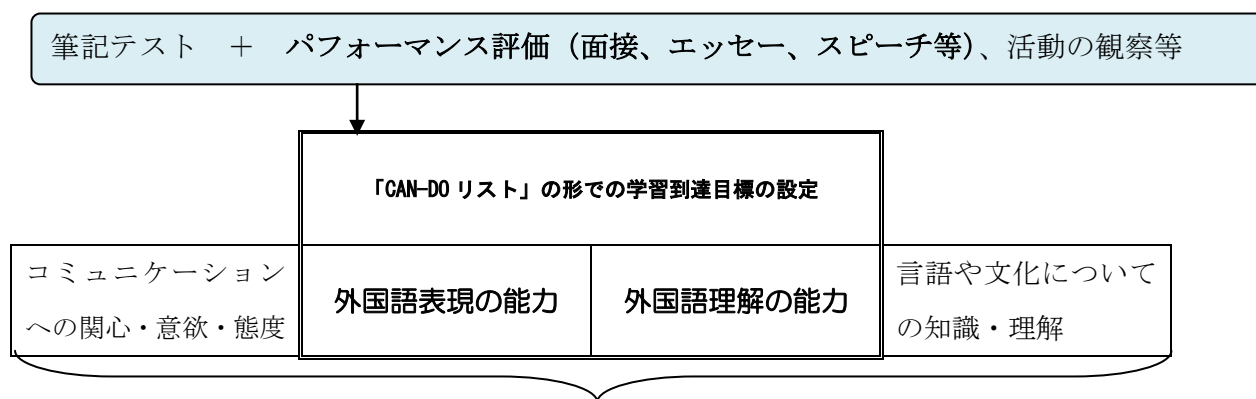
※ 教科書を教えることに精一杯になっていると、「教科書を教えることで最終的にどのような生徒を育てたいのか」ということが見失われがちになってしまいます。「教科書を教える」のではなく「教科書で教える」と言われますが、CAN-DO リストの開発では、まさに、「教科書で教え」て「生徒が何をできるようになるのか」が問われます。

「CAN-DO リスト」の設定手順は？

全ての生徒が達成すべき目標になります。

- 1 卒業時の学習到達目標を設定する。
- 2 学年ごとの学習到達目標を設定する。（「CAN-DO リスト」の形）
 - ・言語の使用場面・働きを参照
 - ・適切に評価できるもの
- 3 「CAN-DO リスト」形式の目標を年間指導計画に位置づけ、さらに単元計画にも反映させる。
(評価規準、評価方法、評価時期も関連づける)
 - ・反映例は、文部科学省 HP 下記アドレス参照

評価方法は？



観点別評価は、今までとおり4観点で行います。

◇ 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標の例については、本 HP 教科の部屋「英語のページ」●参考資料にアップしています。

【詳細】

各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き

文部科学省初等中等教育局 平成25年3月

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm